

# 地域包括支援システムネットワーク利用業務仕様書

南越前町

## 目 次

(1) 地域包括支援システムクラウド利用 編

(2) 関連機器賃貸借 編

## (1) 地域包括支援システムクラウド利用 編

- 1 業務名 地域包括支援システムクラウド導入業務
- 2 構築期間 契約締結日から令和8年3月31日まで
- 3 サービス利用期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで
- 4 履行場所
  - ・ 南越前町保健福祉課 地域包括支援センター
  - ・ 南越前町社会福祉協議会 今庄支所
  - ・ 南越前町社会福祉協議会 河野支所
  - ・ 受託者管理のデータセンター
- 5 支払方法 令和7年度中の支払いなし。地域包括支援システムクラウドの利用形態は、月額利用料を定めた5年間とし、半年ごとに後払いにて支払うものとする。
- 6 調達要件 下記ⅠからⅢのとおり
  - I 基本的事項
    - i 目的

本仕様書は、本町にて利用する地域包括支援システムクラウドの導入及びシステム導入後の円滑な運用と安定稼働維持を前提としたサービスの利用を目的とし、本サービスの利用に係る仕様等を規定するものである。
    - ii 業務要件

本業務は、担当課に設置するクライアント機器からネットワーク回線を利用し、受託者が管理するデータセンター内サーバへ接続することで、クラウドサービスによるシステムの利用提供を受けるものであるが、受託者はシステムの利用に必要な機器、環境等を整備し、本仕様書で定められたサービスを提供すること。

本仕様書に明示的な記載が無い場合には、本町と協議のうえ、必要に応じて対応すること。

### iii 受託者条件

- (1) 受託者は、国又は地方公共団体が発注した地域包括支援システムの導入業務を元請として履行した実績を有する者であること。
- (2) 受託者は、情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC 27001 及び ISO/IEC27017 適合性評価制度の認証を受けていること。
- (3) 受託者は、データセンターにて地域包括支援システムクラウドを提供でき、システム保守から運用維持管理まで包括して請け負えること。
- (4) 受託者は、本町からの不具合発生連絡受領後、1 時間以内に電話サポートもしくは当日中に速やかな対応を行うこと。

### iv 全体要求

- (1) 本町の示す方針に基づき本業務を遂行すること。

### v システム構築条件

- (1) システム構築の実施日時及び方法等については、本町職員と十分に打合せを行うこと。
- (2) 本業務の受託に必要な環境は受託者が用意すること。
- (3) 受託者は、本業務の遂行にあたり、十分な知識、技術、理解及び経験のある作業者を配置し、従事させること。
- (4) 受託者は、本業務の受託にあたり、町関係機関、事業者との間で生じる各種調整事項について、積極的に協力・調整を行うこと。

## II 具体的事項

### i 地域包括支援システムについて

- (1) 対象業務システムは以下の通りとする。

No.	業務システム名	パッケージ名	備考
1	地域包括支援システムクラウド	HOPE LifeMark- WINCARE V3	Windows11 対応

### ii サービス提供に係る設備

- (1) サービス提供に係るサーバ等の機器は、データセンターにて運用管理、監視され、単一のハードウェア障害時でもシステムが停止しないよう冗長構成が構築されたものとする。
- (2) 機器類を設置保管する施設は、部外者の侵入が制限された室内であり、I SMS

に準拠したセキュリティ要件を備えた場所であること。

- (3) サービス提供に係るネットワーク機器及びウィルス対策サーバは受託者が準備すること。

### iii ネットワーク

- (1) 南越前町庁舎内及び支所間のネットワークは、既存のネットワーク回線(CATV)を利用すること。

※本調達には、CATV 回線利用料は含まないこととする。

※南越前町庁舎 1 階担当課から電算室までの追加 LAN 回線整備は別調達とする。

- (2) 本町とデータセンター間のネットワークは、福井県が運用する福井情報スーパーハイウェイ（以下「F I S H」という。）を使用して接続すること。

### iv クライアント関連機器

- (1) ハードウェア等、システムに必要な周辺機器を別途定める関連機器賃貸借編、システム機器詳細仕様のとおりに導入するものとする。

## III 個別事項

### i システム基本要件

- (1) システムを利用する端末の OS は、Windows11 Pro であること。
- (2) データベースは、データセンター設置のサーバ内で管理し、これを原本とするシステムであること。
- (3) システムの利用は、端末から入力することによりデータベースに反映されるリアルタイム処理方式であること。
- (4) システムメニューは、選択方式等により、操作したい業務内容や項目が容易に選択できる画面構成であること。
- (5) マスタ管理機能で登録内容を容易に修正できること。
- (6) 本町が運用する MCWEL 介護保険システムにて取り扱うデータとの連携が可能なこと。
- (7) 画面遷移は、クリックから 3 秒以内程度とすること。

### ii システムの運用維持管理

- (1) サーバ等機器について、システムのサービス提供が常に良好な状態で行えるよう維持管理すること。
- (2) データは日次でバックアップ及び 7 世代以上の管理をされること。
- (3) サーバにはウィルス対策ソフトを導入し、パターンファイルは常に最新の状態に保つこと。

- (4) サーバ等機器の常時監視を行うこと。機器に異常が発生した際は、自動で運用管理者に通知され、即時に対応可能な体制を整えること。

iii 特記事項

- (1) 前項に規定する以外の小規模なシステムの改修の必要性が発生した場合には、両者協議のうえ、決定するものとする。

7 クライアント関連機器の設置場所および台数

(1) 設置場所および台数

- ・機器の設置場所および台数は以下のとおりとする。

設置場所	関係部署・支所	デスク型	プリンタ
南越前町保健福祉課	地域包括支援センター	3	1
南越前町社会福祉協議会	今庄支所	2	1
南越前町社会福祉協議会	河野支所	1	1
合計		6	3

(2) 機器の調達

- ・クライアント関連機器は関連機器賃貸借のとおり調達するものとする。

(3) 機器の撤去

- ・現行で利用しているPCやサーバ機器等の端末において不要機器がある場合は、本町と協議のうえ撤去すること。
- ・不要機器は無償譲渡とし、別途譲渡契約を結ぶものとする。
- ・撤去にあたり、現行端末内のハードディスクは物理破壊によるデータ消去を行い、データ消去証明書を本町職員へ提出すること。

8 地域包括支援システムの導入

(1) システム導入

システム構築

- ・サーバに地域包括支援システムをセットアップすること。
- ・システムセットアップ後、正常に動作することを確認すること。

- (2) 利用者基本情報は、介護保険システムより、データ取込を行うこと。

(3) 機器搬入・設置

搬入・設置

- ・指定の場所に搬入、設置すること。
- ・機器設置設定後、システムが正常に動作することの確認を行うこと。
- ・帳票の印字確認を行うこと。

(4) 介護保険システムとの連携

- ・ファイルレイアウトは、介護保険システムにあわせること。
- ・介護保険システムとの間で異動情報の取込みが可能であること。

対象情報は氏名、性別、生年月日、住所、連絡先等の基本情報、介護保険資格情報及び要介護認定情報とし、異動や要介護認定の更新、変更申請の情報が連携できること。

(5) 立会い

- ・システムの本稼働時の立会いを行うこと。

(6) 納品物

- ・成果物として下記の資料を電子データにて提出すること。

①作業工程表

②運用操作マニュアル

9 クラウドサービス条件

(1) システム利用時間

- ①原則、平日の午前8時30分～午後6時00分までとし、必要に応じて午後10時00分まで延長利用が可能なこと。
- ②休日（土日、祝日等）にシステムの利用が必要になった場合においても対応が可能なこと。

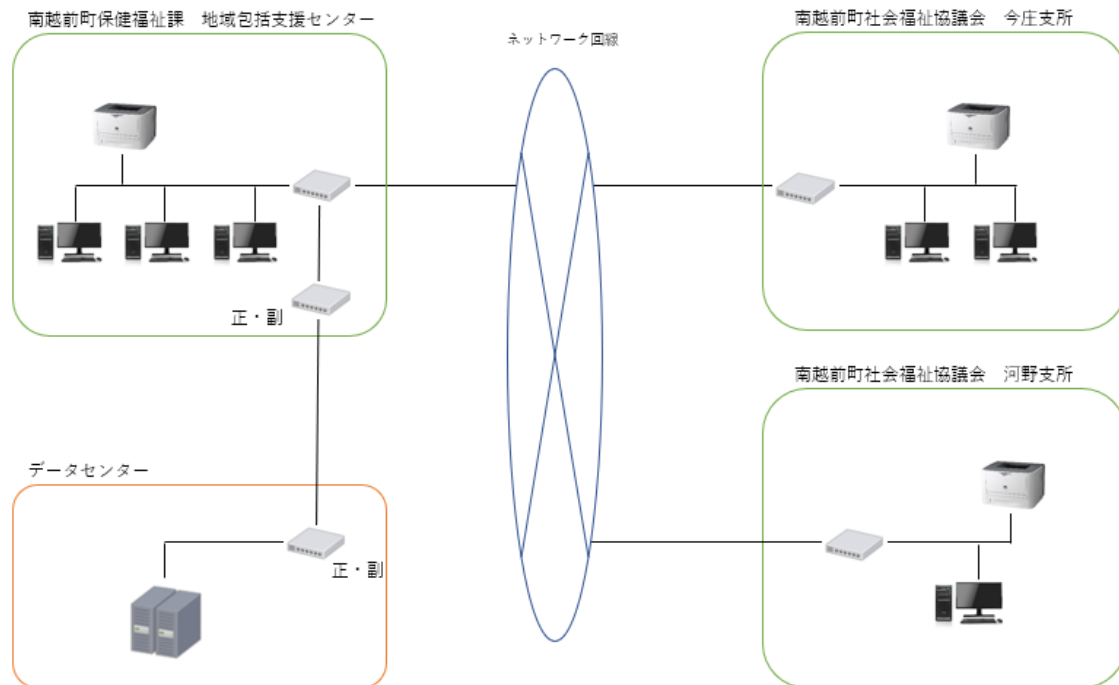
(2) サービス基盤

- ①サーバ等機器の物理的障害時において、クラウドサービスが停止しないよう対策を講じること。
- ②データの日次バックアップ及び、7世代以上の管理を行うこと。
- ③ネットワーク監視、プロセス監視、イベント監視を行い、異常時には運用管理者に通知され、速やかな対応が可能なこと。

(3) ネットワーク

- ①データセンターと本町間のネットワークを構築すること。通信に必要となる機器は受託者が準備し設置すること。既設機器の利用も可能とする。
- ②通信は暗号化すること。

(別図参照)



#### (4) システム保守

- ①ソフトウェアの仕様、操作に関する問い合わせ等の運用支援を行うこと。
- ②ソフトウェアの不具合が発覚した際は、迅速に修正プログラムの適用作業を行うこと。
- ③クライアントPCの不具合により、システムの再セットアップが必要な際には、保守範囲内で行うこと。なお、復旧作業は可能な限りクライアントPCが設置されている事務所内で行うこと。
- ④保守対応時間は、原則、通常勤務時間（平日の午前8時30分～午後5時15分）内とするが、障害等の緊急の際は時間外であっても対応にあたること。
- ⑤システム利用に関して、不具合が生じた際は、受託者によって切り分け作業を行い、原因を追究すると共に即時対応により問題解決を図ること。なお、対応に要する費用については、受託者において負担すること。
- ⑥復旧に2時間以上要する場合、1時間ごとに経過状況を本町に報告すること。

#### (5) データ移行

- ①既存システムからのデータ移行作業は本業務に含まれない。
- ②移行方法について最適な方法を検討し、提案を行うこと。なお、具体的な方法については、本町と十分な検討を行い柔軟に対応すること。

#### (6) 研修等



サービス開始前に本町職員に対し、操作の習得に必要な研修又は助言等を積極的に行うこと。

## 10 データセンターの機能

### (1) 立地

#### 所在地

海岸線から5km以上離れ、交通の利便性に優れていること。

### (2) 建物

#### ア) 構造・規模

鉄骨鉄筋コンクリート造であり、免震ビル構造であること。

#### イ) 防火設備

①データセンターのフロアには、ガス系の消火設備があること。

②自動火災報知設備、煙探知設備があること。

#### ウ) 空調の設定

①サーバールームごとにN+1方式で冗長構成が取られていること。

②吹出口は二重床下吹出であること。

③温度、湿度が適正に管理されていること。

#### エ) ラックエリア床面強度

1t/m<sup>2</sup>以上の耐荷重を有すること。

### (3) 電源設備

#### ア) 無停電電源設備

①サーバールームごとにN+1方式で冗長構成が取られていること。

②将来的な拡張に必要な容量が確保されていること。

#### イ) 自家発電設備

①非常用の自家発電機能を備え、無給油48時間程度の電源供給が可能であること。

②災害発生時の優先給油契約があること。

#### ウ) 受電ルート

①2箇所の異なる変電所から2系統の受電経路を持つこと。

### (4) セキュリティ

#### ア) データセンターおよびサーバールームへの入退館（室）時における対策

①データセンターおよびサーバールーム入退館（室）時は、ICカードまたは生体認証を実施すること。

②サーバールームへの入退室においては、共連れを防止する機能を持つこと。

③監視カメラにより、24時間365日監視、記録すること。

イ) セキュリティ認証

- ①データセンター運用会社は、情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC 27001 適合性評価制度の認証を受けていること。
- ②データセンター運用会社は、プライバシーマーク制度の認証によりプライバシーマーク使用許諾を受けていること。

(5) 災害対策

- ①基礎免震構造により加速度 1000gal（震度 7 クラス）でもデータセンター機能を維持できること。
- ②落雷対策として保護レベル I をクリアしていること。
- ③浸水対策が取られていること。

(6) 運用保守・機器管理

ア) 人員配置

- ①システム保守担当として、システムの保守業務を行える要員（機能）を確保すること。

イ) 機器管理

- ①機器の常時監視を行い、異常発生時には運用管理者に通知される仕組みが構築されていること。
- ②定期的に機器状態の定期点検（警告ランプチェック等）を行い、異常があれば報告すること。

## (2) 関連機器賃貸借 編

### 第1条 概要

#### 1. 事業の目的

本町で運用している地域包括支援システム機器について、運用から5年以上が経過し、窓口業務用機器の老朽化・保守停止等に伴い安定した運用が難しいことから、機器の更新を行うとともに、安定したシステムの利用環境を構築することで、適切な住民サービスに資することを目的とする。

#### 2. 関係法令の遵守

本業務にあたっては、関係諸法令等及び工事に関する諸法規を遵守すること。

#### 3. 設計・施工

##### ① 使用材料に関する要求

本業務に使用する材料は、JIS 規格が定められているときは、原則として JIS 規格に準拠した材料を用いること。それ以外の材料を用いる場合は本町の承認を得ること。契約締結後速やかに、賃貸借機器リストを提出すること。

##### ② 承認事項

受託者は本町職員と詳細打合せを行い、機器等及びネットワーク構成について承認を得た後に着手すること。

#### 4. 工程報告

作業工程表

着手日までに提出すること。

#### 5. その他

##### ① 仕様変更

やむを得ない事情により本仕様書の変更を必要とする場合は、予め申し出の上、本町の承認を得ること。

##### ② 記載外事項

本仕様書に記載されていない事項は、本町の指示に従うこと。

##### ③ 疑義

本仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、本町と協議すること。

## 第2条 基本的事項

### 1. 全体要件

- ① 本仕様や地域包括支援システム機能を実現するために必要な機器、器具、ソフトウェア、その他の物品等、及び作業等について、本仕様書に明示的な記載がない場合であっても、必要に応じ含めること。
- ② 構築、機器設置作業、設定において、万一設備等を破損させた場合及び、他システムに何等かの不具合が生じた場合は、受託者の負担により、原状復旧を行なうこと。
- ③ 導入検収後であっても、仕様を満たさない機器や作業、システム等の導入が確認された場合には、速やかに改善すること。
- ④ 機器の輸送、搬入、設置、配線、調整等の諸費用は、本業務に含むものとする。
- ⑤ 各種工事、機器設置・調整の工程及び日程表を事前に提出し、業務等に支障が出ないように、本町と調整を行なうこと。
- ⑥ 機器等は指定された場所に設置すること。引渡しに際しては、システム全般が完全に動作する状態で行なうこと。
- ⑦ 作業にあたり安全対策を施すとともに、その方法等については必ず本町の指示に従うこと。
- ⑧ 賃貸借契約期間終了後、当該物件については、本町へ無償譲渡とする。

## 第3条 システム機器仕様

### 1. システム機器基本仕様

- ① 新たに運用する地域包括支援システムの必要稼動条件を満たし、システムが正常に安定運用できるものであること。
- ② 機器及びOS等は、システムが正常に安定運用できるものを導入すること。
- ③ クライアントPCおよびプリンタの接続に関しては、ネットワーク接続が可能であること。
- ④ クライアントPCは、将来的な拡張を考慮し充分に対応可能な拡張性の高い機器であること。
- ⑤ クライアントPCおよびプリンタの設置場所については、本町の指示する場所に設置すること。

## 2. システム機器詳細仕様

### (1) デスクトップパソコン

- ① オペレーティングシステムは、Windows11 Pro(64bit 版)とすること。
- ② プロセッサは、Core™ i5-13400 相当以上を備えること。
- ③ メインメモリは、16GB 以上とすること。
- ④ ハードディスクは、SSD512GB 以上とすること。
- ⑤ 光学ドライブは、スーパーマルチドライブを備えること。
- ⑥ USB 光学式タイプのスクロールマウスを付属すること。
- ⑦ USB 接続において、日本語キーボードを付属すること。
- ⑧ インタフェースは、DisplayPort 出力端子×2、HDMI 出力端子×1、USB3.2(Gen1)×2、USB3.2(Gen2)×1、USB2.0×7、RJ-45×1 を備えること。
- ⑨ 通信機能は 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応 LAN ポートを備えること。
- ⑩ 5 年間の保証期間を設けること。経年劣化及び不適切な取り扱いの為生じた傷を含む故障もしくは損傷を除き、期間内はオンサイト方式での修理対応を行うこと。
- ⑪ Microsoft 社製 Office Standard 2024 がインストールされていること。  
(オフライン環境で利用できるライセンスであること)

### (2) ディスプレイモニター

- ① 21 型以上のワイドモニタとして、最大解像度は 1920×1080 ドット、表示色は 1,677 万色以上とすること。
- ② 5 年間の保証期間を設けること。経年劣化及び不適切な取り扱いの為生じた液晶パネルの傷を含む故障もしくは損傷を除き、期間内はセンドバック方式での修理対応を行うこと。

### (3) モノクロレーザプリンタ

- ① 印刷速度は、46 枚/分(A4 横送り)、28.7 枚/分(B4 縦送り)、25.7 枚/分(A3 縦送り)以上とすること。
- ② 出力可能用紙サイズは、A3～ハガキ、不定形サイズ(幅 70mm～297mm、長さ 127mm～432mm)対応であること。
- ③ 給紙容量は、標準給紙カセット：550 枚以上、拡張給紙ユニット：550 枚以上、給紙トレイ：100 枚以上であること。
- ④ インタフェースは、イーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）、USB2.0 ポートを備えること。

- ⑤ 地域包括支援システム HOPE LifeMark-WINCARE V3 にて出力される各種帳票について出力検証がとれていること。
- ⑥ 5年間の保証期間を設けること。また保証期間を問わず、消耗品（トナーカートリッジ、ドラムユニット）は有償交換とする。  
経年劣化及び不適切な取り扱いの為に生じた傷を含む故障もしくは損傷を除き、保証期間内は定期交換部品（定着ユニット、転写ローラー）交換を含めたオンサイト方式での修理対応を行うこと。

#### （４）ファイアウォール

推奨製品 Fortinet 株式会社/FortiGate-60F

- ①ファイアウォールスループット（1518 / 512 / 64 バイト UDP パケット）  
10 / 10 / 6 Gbps 以上
- ②ファイアウォールレイテンシ（64 バイト UDP パケット） 3.3  $\mu$ s 以上
- ③ファイアウォールスループット（パケット / 秒） 9 Mpps 以上
- ④ファイアウォール同時セッション 700,000 以上
- ⑤ファイアウォール新規セッション / 秒 35,000 以上
- ⑥ファイアウォールポリシー 5,000 以上
- ⑦IPSec VPN スループット 6.5 Gbps 以上
- ⑧GbE RJ45 WAN / DMZ ポート 2 / 1 ポート以上
- ⑨GbE RJ45 内蔵ポート 5 ポート以上
- ⑩GbE RJ45 FortiLink ポート（デフォルト） 2 ポート以上
- ⑪USB ポート 1 ポート以上
- ⑫RJ45 シリアル管理コンソールポート 1 ポート以上
- ⑬5年間の保証期間を設けること。経年劣化及び不適切な取り扱いの為に生じた傷を含む故障もしくは損傷を除き、期間内はオンサイト方式での修理対応を行うこと。

### 第4条 システム機能仕様

#### 1. 共通機能

- (1) 当機器で利用する業務は以下のとおりとする。

No.	業務システム名	パッケージ名	備考
1	地域包括支援システム	HOPE LifeMark-WINCARE V3	Windows11 対応

## 第5条 システム構築作業

### 1. 搬入構築作業

- ① 搬入設置作業箇所（以下「作業箇所」という）は次のとおりとする。

設置場所	関係部署・支所	デスクトップ	プリンタ
南越前町保健福祉課	地域包括支援センター	3	1
南越前町社会福祉協議会	今庄支所	2	1
南越前町社会福祉協議会	河野支所	1	1
合計		6	3

- ② 地域包括支援システムを動作させるための端末等機器の初期設定を行うこと。
- ③ 搬入設置作業を行うときは、事前に作業工程表を提出し、本町の許可を受けること。
- ④ 作業箇所以外の箇所へ立入る必要があるときは、本町に事前に許可を受けること。
- ⑤ 機器搬入は本町職員の立会いのもと行なうこと。また、搬入時等に発生したゴミ・梱包材等は必要な分別を行い、納入業者の負担と責任において適正に処分すること。
- ⑥ 機器搬入設置後、地域包括支援システムが正常に動作することを確認すること。また、帳票が正常に出力されることを確認すること。
- ⑦ セキュリティソフトのライセンスは必要数準備し、データセンター利用料に含めること。

## 第6条 瑕疵担保期間の運用保守

- ① 本業務の完成後、検取引渡しの日から1年以内に明らかに本システムの設計、機器及び材料上あるいは製作、据付、設定上の原因により生じた故障、不具合等は、受注者の責任において無償で修復すること。
- ② 検取引渡しの日から1年を経過した後であっても、システムの設計不良、機器等の製造不良等に起因すると認められる故障又は不具合は、受注者の責任において、これを修復すること。
- ③ システムの利用に際して、本町が必要とする助言及び支援を行うこと。
- ④ システムの提供の維持及びその信頼性向上のために継続的に必要となる対策を実施すること。
- ⑤ 障害発生等のために応答の内容を臨機に変更する必要がある場合には、本町担当者との緊密な連絡に基づき運用保守要員が適切に対応できるよう、必要な体制を整備すること。

- ⑥ 本業務の業務遂行にあたって必要な備品等の準備を含めた一切の費用（パソコン、ネットワーク接続環境の整備費用、事務用消耗品等）は、受注者の負担とする。
- ⑦ その他、受注者が運用に必要とする備品等を設置する場合は、本町の許可を得ること。